

15年1月
 第233号

春のバスツアー

3月15日(日) 実施へ

午前9時30分～午後4時(予定)

【コースと主な見どころ】

※午前中(中城村～沖縄市)

◆花の伊舎堂歌碑～戦後引き揚げ者上陸記念碑～沖縄市高原(元捕虜収容所 通称:インヌミヤードウイ)～沖縄市新名所「巨大壁画」



思やらば里前 島とうめていいもり

島や中城 花の伊舎堂(左側写真が歌碑)

右側写真は引揚者上陸記念碑(中城村久場崎) 10万人が上陸

※午後から(東南植物楽園)

◆ランチタイム

「癒し・健康」がメニューの特長だそうです

◆チャンプルー市場(帰路)

参加費は 大人 2500円(食事、入園料込み)

小学生 1500円

ガイド 照屋マリ江さん



海の幸アーサ

今が採りどきです!

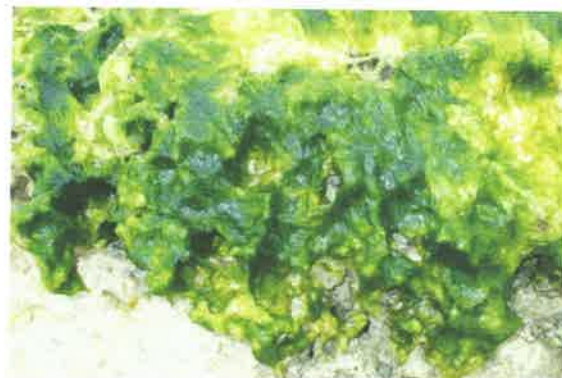
寒さもピークですが、カーミージの海では鮮やかな青色のアーサが岩場の一面に広がっています!!写真。気の早い人は1月上旬から採り始めており、今年も豊作のようです。区

民の皆さんもそろそろ出かけてみませんか?

自治会のアーサ採りは3月8日(日)を予定しています。ただし、この日は旧暦の1月18日。時期的には葉先が枯れて?赤くなっているかも知れません。(旧暦1日、15日前後は赤く変色していく部分が増

今年もアーサ汁で歓迎

2月8日てだこウォーク



える様です。前後5日ぐらい間をあけて出かけて下さい。

例年、キャンプキンザーコースには800人前後が参加し、アーサ汁での歓迎が喜ばれています。当日は午前7時から準備作業が行われます(めかる商店前)。多くの区民の応援参加をお願いします。

伊祖活断層を歩く

地震防災で初の現地学習 市内前田から浦添城址へ伊祖下港川にかけて連続する丘陵地が「伊祖活断層」です。阪神・淡路大震災



から20年、全国的にあられた地震被害への関心が高まっているが、沖縄では殆ど関心も避難訓練もありません。

20日、沖縄国際大学特別研究員の稲垣暁氏のコーディネートで、現地を歩いて断層の状況や防災を考えるイベントがありました!!写真。参加したのは伊祖自治会安里会長を含む役員や婦人部、大学生等約20人。断層上には港川の集落や市防災の心臓部とも言える消防署や警察署も立地している。阪神大震災を経験した稲垣先生の指摘に参加者も「もっと関心と学習を重ねる必要がある」と驚きを口にしていました。

ゆとりだき ときどき閑話

社会は高齢者や低所得者に益々厳しくなりそうです。新年度から介護保険制度改定で、要介護者の施設入居が制限され、在宅介護に回される高齢者が増えます。家族や地域への負担は一層重くなってくる。浦添市の国民保険料値上げも3月議会で再論議される。一体いくらの値上げになっっていくのだろうか?国は沖縄県への振興予算削減を決めました。知事選や衆院選へのしっぺ返しのもりだろうか。その半面軍事予算、辺野古への新基地建設費は集中投下の構え。経済回復など全く実感できない現状で生活は苦しくなるばかりだが、今は我慢の時か。力を合わせ地域の助け合いを広げましょう!

家庭教育懇談会のお知らせ

26日(月)午前10時30分
お茶飲み会気分でご参加下さい。公民館で、1時まで。